

【観光】

1 4 1 . 桜堤について (加茂町)

Q : 「日本一の桜のまちづくり」として平成 1 9 年度予算に 1 , 1 9 8 万円の予算が計上されています。

加茂町でも桜モデル事業を実施し、木次、三刀屋に劣らぬ名所を作ろうと柳橋から神原神社までの堤防沿い約 2 キロにわたり植樹しました。莫大な資金が投入されましたが、2 0 年経ってもできあがっていません。当時、税金を使って土地の買収まで行われました。1 9 年度の事業内容を教えてください。

A : 加茂の状況がよくなるのは、柳橋から神原神社までの土壌が桜の生育に向かず、根が伸びていないことによるものです。(市長)

専門業者に土壌をみてもらいましたが、生育に向かず成果が出ない状況でした。雲南市商工観光課では、桜の会員を全市で募っています。年会費は 1 , 0 0 0 円です。皆さんに会員になっていただき、桜の管理ができたかと考えています。加茂町での取り組みも進めていきたい考えですが、現在は、市民生活に直結するインフラ整備等を優先的に行っている状況です。(加茂総合センター)

1 , 1 9 8 万円は、桜名所百選に選ばれている木次の斐伊川堤防桜並木保全のために使われます。桜守の管理委託費と桜の会への補助金に充てられます。
(産業振興部)

1 4 2 . 神原古墳の現地展示写真パネル等について

Q : 写真パネル等が発掘当時のものであり、古くなっているので整備していただきたい。

A : 調査し、対応に努めます。(教育委員会)

1 4 3 . 八重滝・八重山神社について

Q : 当地区には、自慢のできる八重滝渓流と八重山神社があります。観光事業について、雲南市では、ヤマタノオロチ伝説を重点に行われているようですが、ぜひ八重滝渓流などに注目していただきたいです。

また、八重山神社は、牛馬の守護神とされており、当地区の牛が県和牛能力共進会のチャンピオンとなり、七冠馬シンボリルドルフの偉業も同神社の力だったとの話もあるほどです。八重山神社は、氏子のいない神社としても有名ですので、存続につきましては、文化財保護事業などで後見をお願いします。

A : 雲南市では本年度から「雲南化ブランド化プロジェクト」に取り組んでいます。

八重滝については、自主的にコミュニティで遊歩道の草刈など日常的な業務を続けていただいています。また、8 月 1 5 日には、地元のみなさんによる滝まつりを開催いただいて、更なる魅力向上に努めていただいています。八重滝は、県立自然公園の

認定や、日本の滝百選にも選ばれとりわけ魅力あるところです。H18度の県の観光動態調査では、竜頭が滝とあわせて年間約5万人が訪れています。雲南市ブランド化プロジェクトを始め、雲南市観光協会での取り組みもあわせ、魅力ある八重滝に、たくさんの方においでいただけるよう施策を展開していきます。

次に八重山神社は、スサノオが退治した魔物が金の鶏に変身して入間のために尽くしたという伝説があり、牛馬の繁栄祈願で有名です。昨年入間地区、一昨年は波多地区の牛が県共進会でチャンピオンになり、県の中でも雲南市、雲南市の中でも掛合の牛が立派な成績を納めています。また、小説家の宇野千代さんが執筆された「八重山の雪」の舞台にもなっており、雲南市の魅力あるスポットの一つとして引き続き内外に紹介していきたいと考えています。(産業振興部)

144. 雲南市の観光動態について

Q：雲南市への観光入込客の状況はどうか。また、映画「うん、何？」をどのように活用されますか。

A：観光施設への入館者数を足した単純な数字ですが、17年度で67万人程度です。映画の上映を利用し、Iターン・Uターンの促進と、入込客の増加へつなげたい考えです。(政策企画部)

145. 花見時の障がい者用トイレの設置について

Q：今年の春は、花見客が多かったです。トイレが少なくお客さんが並んでいる状況でした。障がい者の方にも安心して来て頂けるように、障がい者用トイレの増設を考えたらどうですか。

A：最近、障がい者用トイレの設置は当たり前となっています。花見時期のみならず、観光客のために必要なので検討していきます。(影山副市長)